



川根本町 杉山嘉英町長

景気後退、雇用の問題： 不況の波は確実に町を直撃している 今、できることは何かを考える時

本町を襲う不況の波

不況の波は、本町にも激しく襲ってきています。町内の事業所から「仕事が減ってしまい困っている」「町でなんとかできないか」という相談も数件受けています。

町内に籍を置く大切な事業所の皆さんです。町としても何かできることはないか、模索しているところです。国・県・町が発注する公共事業についても、以前と比べて大幅に減ってしまったようです。国の緊急経済対策、21年度補正予算

の支援なども、景気回復に向けた取り組みの一つです。そして今、取り組んでいかなければならないのが、1次産業の衰退防止。耕作放棄地の対策、森林の利用間伐の促進などを積極的に進めます。雇用の場の確保につな

などを積極的に活用し、事業量確保、早期発注に努めています。今わたしたちにできること

日本全体、世界全体を襲っている不況の波。この大きなうねりの中、今わたしたちに何ができるでしょうか。農業や林業、商工業、観光業など、どの分野ものきなみ低迷し、住民の消費行動も落ち込みを見せています。どこで底をつくのか分からない不況の中、それでもこの町を守っていかねばなりません。町内の消費拡大を狙った商工会のプレミアム付買い物物券へ

がつていけばと考えています。町内に施設をつくって雇用を増やせばというご意見もいただきます。確かに、一時的には雇用拡大につながるかもしれない。しかし将来の町を考えたとき、維持管理の問題など、マイナスの要素が強いのも事実です。守るべきものは守るという意思

町として一番大事なものは、ここに暮らす人々が「生活」を営めるよう、最低限の仕組みを保障すること。水道であったり、福祉であったり、教育であったり、安全安心のためであったり。どれ一つとつても、おろそかにできるものではないと思います。今は何より、経済状況の変化に左右されず、守るべきものは守っていくという強い意思こそ大事な時です。外需に頼りきるのではなく、自分たちが持っている資源・資産をもう一度確認し、さらに磨いていくことこそ必要なのです。そのためにやれることは、最大限努力していきたくと考えています。川根本町全体で一致団結して、この不況の波を乗り越えていきたい。行政は、そのために全力を注いでいきます。

券発行の目的・狙い

景気が停滞している現在、町内の事業所はどこも厳しい状況にあります。このプレミアム付買い物物券を通して、町内の消費行動を活性化させ、町内事業所に元気を

取り戻したい。そして、町全体の景気回復につなげることができればと思っています。既に波及効果は出始めている

2割の上乗せという大きな特典。県内でも最高の上乗せ額となつて

います。この上乗せ分を負担してくれた町の強い意気込みを感じています。この券は町全体で使うことができます。商店でも、電気店でも、工務店でも。少しでも幅広く消費してもらいたいという考えに基づいて発行しています。

この買い物券の発行で 町内事業所の元気を取り戻したい 町の景気回復のきっかけになれば



川根本町商工会 諸田準一 会長 (久野脇)

本事業の趣旨をご理解いただき、本当にありがとうございます。ご感想もお待ちしております。

この券は、一世帯あたり5万円を購入の上、上限として販売しています。全部で6000セットの限定販売です。少しでも多くの人に券が行き渡



お買い物券購入者に直接手渡す中村国海副会長

り、たくさんのお店で利用してもらいたい。そんな意図から購入の上限を定めています。大きな商店も小さな商店も含め、いろんなジャンルの店で幅広く利用してもらえればと思っています。

この券を一つのきっかけとして、これからこの券が、町内のあらゆる事業所で使われるようになっていけば、町には大きな経済効果が生まれます。

この券の発行を一つのきっかけとして、不況に立ち向かっていきたい。この取り組みだけで景気の問題がすべて解決するわけではありません。商工会としても、これを足がかりとして、次につながるよう頑張っていかなければなりません。